



令和2年9月7日発行 中等新報第73号  
新潟県立村上中等教育学校長 吉井 裕也

## PTA主催進路講演会② ～大学の魅力って何？～



社会科教室での進路講演会（遠藤辰也さんのお話）

### 遠藤辰也さんの話

・私は、東北大学理学部の物理学科で学んでいます。現在、専攻の講義の他に、教職課程（教員免許状を取得するための講義）を受講しています。1年生のときは専攻に関係のない広い分野から講座を選ぶことができますが（教養課程といいます）、そのとき受講した心理学の講義が面白く、将来は大学院に進学して心理学を研究したいと思っています。心理学というと一般には文系の学問と思われがちですが、実験によるデータの収集と分析がとても大事なので、理系的なアプローチが必要な学問でもあります。ちなみに理系学部の学生の大学院進学率は、およそ70%です。

- ・大学には多種多様なサークルがあります。サークルというのは、部活動よりゆるい感じの「同好会」といったようなものです。私は、高校生学習支援サークルとか、ロケット打ち上げサークルとか、フットサルサークルなどに所属しています。アルバイトは、単発で、ライブハウスのスタッフなどをしています。
- ・大学の魅力は、大きく次の3点だろうと思います。1つめは、その道の権威といわれ

高橋駿太さん（11期生）



る教授の教えを受けることができ、幅広い教養を身に付けられるということ。理系学部であっても、私が心理学に惹（ひ）かれたように、1年次の教養課程等で文系学問の面白さにふれることができるのが総合大学の良さだと思います。

- ・2つめは、面白い人たちに会えるということ。出身地域も、年齢もばらばらな人たちと交流できます。私の知り合いには、1浪して大阪大学医学部に進学し、そこで1年留年して、現在東北大学理学部にいるなんていう人もいます。
- ・3つめは、休みが多いということ。私の場合、1年間のうち6割の215日が休みです。自由な時間を使って、好きなことを思いっきりできます。ただ、すべては自己責任です。大学生活は、自主的に行動できるかどうかでその価値が決まります。
- ・村上中等では、レッツ・トライの精神で、いろいろなことに挑戦してください。「受験は団体戦」という言葉は、中等にぴったりだと思います。村上中等の学習システムはすぐれています。他校の出身者は、高校時代、予備校に通うのが当たり前なのに、私は予備校の世話にならずに大学進学できました。このことを言うと、大学の同級生は皆驚きます。



遠藤辰也さん（11期生）



新潟県立村上中等教育学校

〒958-0031 村上市学校町6番8号 TEL.0254-52-5101 FAX.0254-53-6773  
HPアドレス <http://www.murakami-ss.nein.ed.jp>